



# Azure へのデータブローカーのインストール Cloud Manager

Ben Cammett  
March 10, 2021

This PDF was generated from [https://docs.netapp.com/ja-jp/occm/task\\_sync\\_installing\\_azure.html](https://docs.netapp.com/ja-jp/occm/task_sync_installing_azure.html) on June 04, 2021. Always check docs.netapp.com for the latest.

# 目次

|                               |   |
|-------------------------------|---|
| Azure へのデータブローカーのインストール ..... | 1 |
| サポートされている Azure リージョン .....   | 1 |
| ネットワーク要件 .....                | 1 |
| 認証方式 .....                    | 1 |
| データブローカーのインストール .....         | 1 |

# Azure へのデータブローカーのインストール

新しいデータブローカーを作成する場合、Azure のデータブローカーオプションを選択して、VNet 内の新しい仮想マシンにデータブローカーソフトウェアを導入します。Cloud Sync ではインストールプロセスがガイドされますが、インストールの準備に役立つように、このページの要件と手順が繰り返されています。

また、クラウド内または社内の既存の Linux ホストにデータブローカーをインストールすることもできます。["詳細はこちら。"](#)

## サポートされている Azure リージョン

中国、米国政府、米国国防総省を除くすべての地域がサポートされます。

## ネットワーク要件

- データブローカーは、アウトバウンドインターネット接続を必要としているため、クラウド同期サービスにポート 443 経由のタスクをポーリングできます。

Cloud Sync は、データブローカーを Azure に導入するときに、必要なアウトバウンド通信を有効にするセキュリティグループを作成します。

アウトバウンド接続を制限する必要がある場合は、を参照してください ["データブローカーが連絡するエンドポイントのリスト"](#)。

- ネットワークタイムプロトコル ( NTP ) サービスを使用するように、ソース、ターゲット、およびデータブローカーを設定することを推奨します。3 つのコンポーネント間の時間差は 5 分を超えないようにしてください。

## 認証方式

データブローカーを導入する際には、認証方式として、パスワードまたは SSH 公開鍵ペアを選択する必要があります。

キー・ペアの作成方法については、を参照してください ["Azure のドキュメント：「 Create and use an SSH public-private key pair for Linux VMs in Azure"](#)。

## データブローカーのインストール

同期関係を作成するときに、Azure にデータブローカーをインストールできます。

手順

1. [ 新しい同期の作成 \* ] をクリックします。
2. [ 同期関係の定義 \* ] ページで、ソースとターゲットを選択し、[ 続行 \* ] をクリックします。

ページを完了して、「 \* データブローカー \* 」ページを表示します。

3. [ \* データブローカー \* ] ページで、 [ \* データブローカーの作成 \* ] をクリックし、 [Microsoft Azure\* ] を選択します。

データブローカーがすでにある場合は、をクリックする必要があります  最初にアイコンをクリックします



4. データブローカーの名前を入力し、 [ \* 続行 ] をクリックします。
5. プロンプトが表示されたら、 Microsoft アカウントにログインします。プロンプトが表示されない場合は、 \* 「 \* Azure へのログイン \* 」をクリックします。

このフォームは、 Microsoft が所有およびホストしています。クレデンシャルがネットアップに提供されていません。

6. データブローカーの場所を選択し、仮想マシンに関する基本的な詳細を入力します。

The image shows a configuration form with two main sections: 'Location' and 'Virtual Machine'. The 'Location' section contains dropdown menus for 'Subscription' (OCCM Dev), 'Azure Region' (West US 2), 'VNet' (Vnet1), and 'Subnet' (Subnet1). The 'Virtual Machine' section contains a text input for 'VM Name' (netappdatabroker), a text input for 'User Name' (databroker), a radio button selection for 'Authentication Method' (Password is selected), a password input field, and a radio button selection for 'Resource Group' (Generate a new group is selected). Information icons are present next to the VM Name, User Name, and Password fields.

7. VNet でのインターネットアクセスにプロキシが必要な場合は、プロキシ設定を指定します。

8. [\* Continue (続行) ] をクリックし、展開が完了するまでページを開いたままにします。

この処理には最大 7 分かかることがあります。

9. Cloud Sync で、データブローカーが利用可能になったら、[\* 続行 ] をクリックします。

10. ウィザードのページに入力して、新しい同期関係を作成します。

Azure にデータブローカーを導入し、新しい同期関係を作成しました。このデータブローカーは、追加の同期関係とともに使用できます。

### 管理者の同意が必要なことを示すメッセージを受信しますか？

Cloud Sync で組織内のリソースに代理でアクセスする権限が必要であるために管理者の承認が必要であることが通知された場合は、次の 2 つのオプションがあります。

1. AD 管理者に次の権限を提供するよう依頼します。

Azure では、[ 管理センター ] > [ Azure AD ] > [ ユーザーとグループ ] > [ ユーザー設定 \* ] の順に選択し、\* ユーザーが代わりに会社のデータにアクセスするアプリに同意できるようにします。\*

2. 次の URL を使用して、\* CloudSync-AzureDataBrokerCreator\* に代わって、AD 管理者に同意するよう依頼してください（これは管理者同意エンドポイントです）。

\ [https://login.microsoftonline.com/{FILL テナント ID }/v2.0/adminconCILINE?client\\_id=8ee4ca3a-BAFA-4831-97cc-5a38923cab85](https://login.microsoftonline.com/{FILL テナント ID }/v2.0/adminconCILINE?client_id=8ee4ca3a-BAFA-4831-97cc-5a38923cab85) & redirect\_uri=https://cloudsync.netapp.com&scope=https://management.azure.com/user\_impersonationhttps://graph.microsoft.com/User.Read に移動します

URL に示されているように、アプリケーションの URL は <https://cloudsync.netapp.com> で、アプリケーションのクライアント ID は 8ee4ca3a-BAFA-4831-97cc-5a38923cab85 です。

## Copyright Information

Copyright © 2021 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

## Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.